

わくわく中国文化



—中国の世界遺産①—

Illustration by KOH_HSL(instagram)

中国の世界遺産①

今年度は中国の世界遺産について紹介します。

一回目は中国の首都である北京にある世界遺産を紹介します。北京は歴史文化名城として世界遺産を7つ有することから、世界遺産のある都市の中で一番多い都市となりました。

七つの世界遺産は万里の長城、故宮、頤和園、周口店の北京原人遺跡、天壇、明・清王朝の皇帝墓群、大運河となります。(順不同)今回は万里の長城と故宮と頤和園について詳しく紹介します。

・万里の長城

1987年に万里の長城は世界遺産に登録されました。「前後2000年余り、縦横5000万メートル余り」と言われています。万里の長城は紀元前3世紀から17世紀まで中国の北方で建設し続けていた偉大なる軍事防御工事です。東は河北省の山海関を起点とし、西の終点は甘肅省の嘉峪関に達しました。現在の長さは合計2万キロメートル余りです。

実は春秋戦国時代に、各国は外敵の侵入を防ぐために、国境の険しいところで城壁を築き始めました。秦の始皇帝は中国を統一した後で、戦国時代に造られたバラバラの防衛城壁を繋いで、雄大な迫力の万里の長城を作り上げました。時間が経つと、各王朝は秦の万里の長城を固めたり、増築したりしました。明の時代に至って、昔の万里の長城をもとにして段々現在の万里の長城の風貌に改修されました。

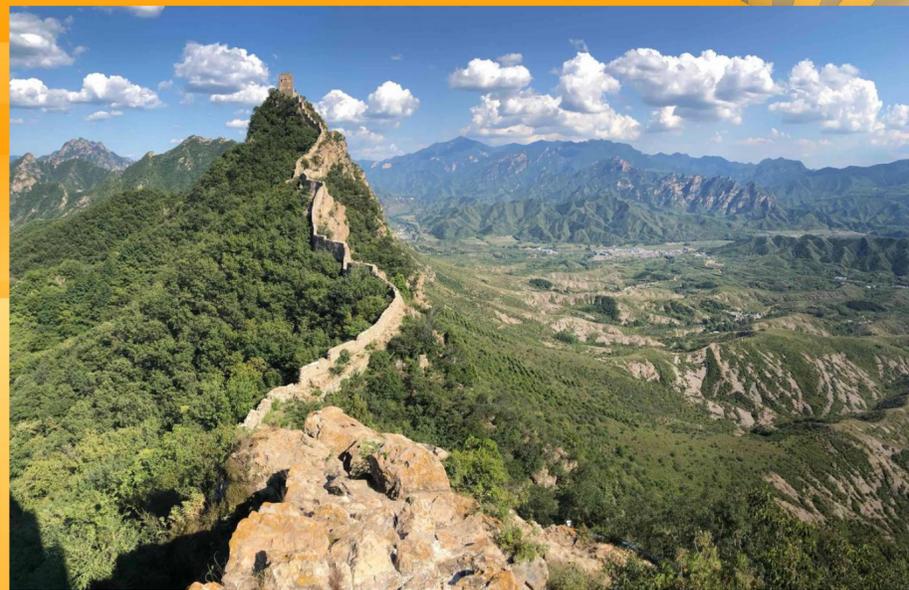
現在北京にある万里の長城の代表的なスポットは八達嶺（はったつれい）長城と居庸関（きょようかん）長城と慕田峪（ぼでんよく）長城と金山嶺（きんざんれい）長城と司馬台（しばだい）長城と箭扣（せんこう）長城です。



慕田峪長城



八達嶺長城



司馬台長城

写真/Baidu

北京

BEIJING

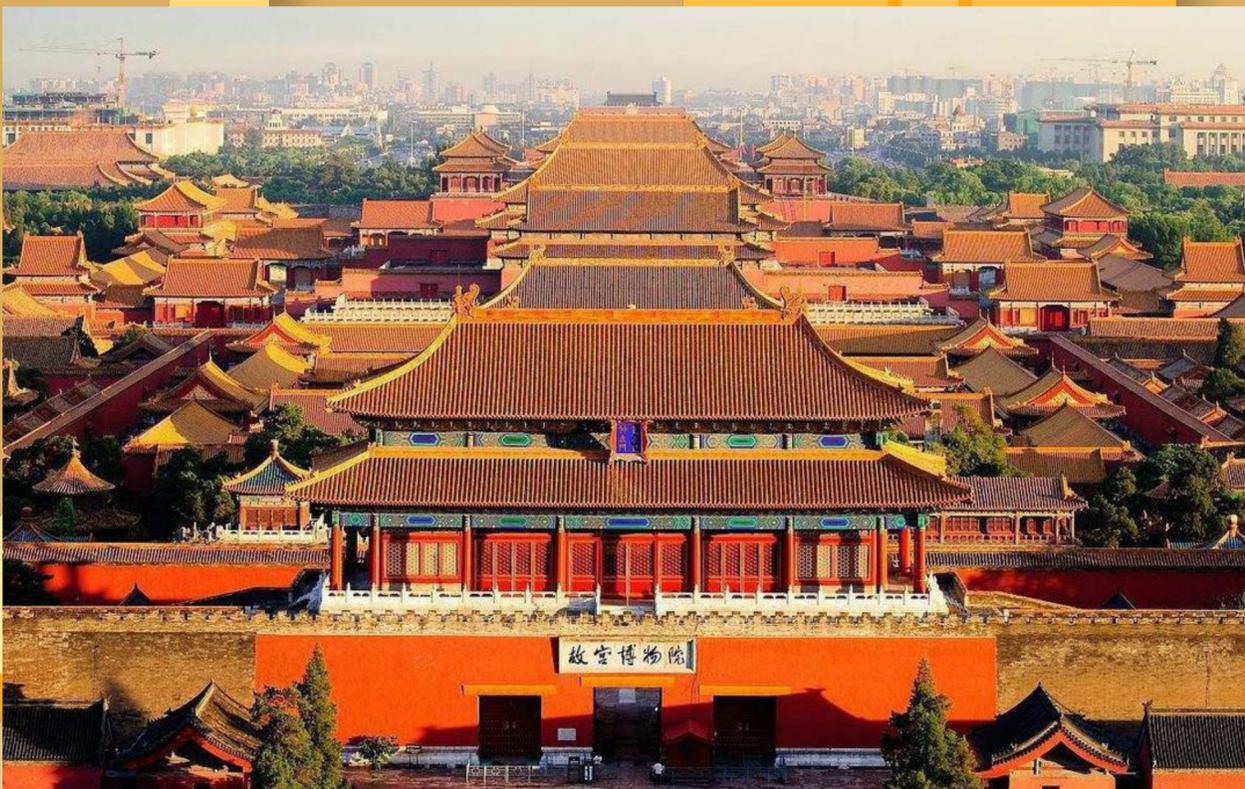
中国の世界遺産①

・故宮

故宮博物院は1987年に世界文化遺産に登録されました。中華文化の重要な伝達手段と集大成です。初の北京旅行なら行くべき観光スポットです。故宮の旧称は「紫禁城」で、明・清時代の皇帝の宮殿でした。紫禁城の「紫」は、中国古代の星象学にならい天帝のいらっしゃる天の中心である紫微垣の意味で、「禁城」とは庶民が自由に入ることを禁止された城という意味で、これらの意味を合わせたものです。

「昔の宮殿」を意味する故宮博物院は世界の五大博物館の一つです。故宮はかつて明と清の24代にわたる皇帝が住んでいた宮城です。明の永楽帝朱棣によって南京から北京に遷都して建造されてから、清の最後の皇帝愛新覚羅溥儀が紫禁城を追われるまで、すべての重要な歴史事件や重要人物は故宮で跡を残しました。故宮の中にある宮殿や文化財や歴史人物や節気や動植物などをゆっくり味わって解読する価値があります。

建築が雄大で壮観な故宮は、中国伝統的な古典スタイルと中国ならではの趣を現し、中国乃至は世界現存最大の宮殿で、中華民族の貴重な文化遺産です。



故宮とその四季

写真/Baidu

北京

BEIJING

中国の世界遺産①

・頤和園(いわえん)

頤和園は1998年に世界文化遺産に登録されました。旧称は清漪園(せいいえん)と呼ばれていました。乾隆帝が母の還暦を祝うために、1750年に造り出した離宮です。清の時代の皇室庭園で、昆明湖と万寿山を基盤に、浙江省の杭州の西湖を手本とし、江南園林のデザインを取り入れた大規模な庭園景観です。頤和園は面積が7万平方メートル余り、敷地が大小ひっくるめて20か所あり、古い樹木が1600本余りあり、建物が3000部屋余りあり、その中で十七孔橋や石舫や蘇州街や仏香閣や諧趣園などといった建物がとても有名です。最も完全に保存された皇室庭園で、「皇室庭園博物館」と呼ばれています。



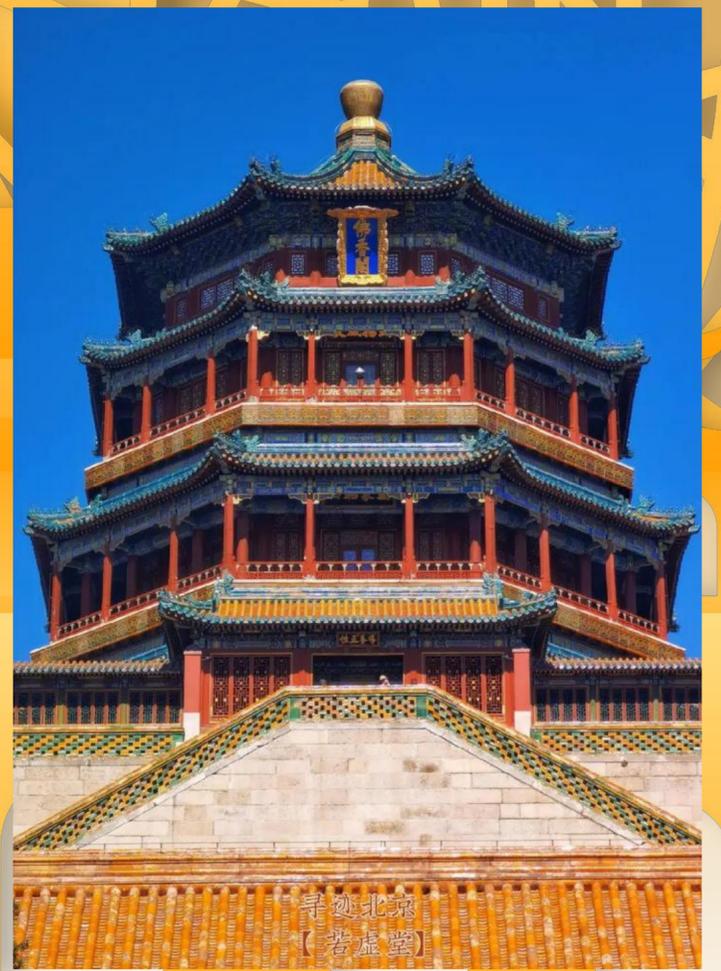
頤和園



夕焼けと石舫



十七孔橋



仏香閣

写真/Baidu

北京

BEIJING